

平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア I・准教授
氏名 Name	今岡良子
専門分野 Academic Field	モンゴル語・遊牧地域論

平成 28 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ミツバチの視点から草原の diversity を考える				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan （Approximately 100 Words）					
国連生物多様性条約国では、特に、北半休のミツバチが 4 分の 1 に減少したことから、食料生産に多大な影響を与えることを危惧し、問題としている。 モンゴル国では、社会主義の時代から養蜂が行われ、市場経済移行後、国営農場の民営化に伴い、養蜂は衰退したが、市場経済移行後、養蜂は復活し、輸出産業の一角を担うほどの成長産業となっている。 養蜂によって、草原の持続可能な維持管理が可能であれば、鉱山開発から守る可能性があり、また、遊牧民の次男三男が、遊牧以外の生業から収入を得る可能性がある。 今年度は、モンゴルの養蜂のメッカ、シャーマル郡を訪問し、現状を把握するつもりである。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	mongolia	nomadism	biodiversity	bee	honey
キーワード Keywords*2	モンゴル	遊牧	生物多様性	ミツバチ	蜂蜜